



やしろ

令和2年8月20日
 幸手市立八代小学校
 幸手市平須賀1-14
 TEL: 48-0960
 児童数79名



2学期がスタート！！

八代小学校長 安田 修一

さあ、2学期がスタートです！！元気な子供たちの笑顔と明るい声が八代小に戻ってきました。例年よりも短い夏休みでしたがそれぞれに充実した夏休みを過ごしたと思います。大きな事故もなく、無事に2学期始業式を迎えられたことが何よりうれしいことです。しかしながら、コロナの感染状況は落ち着く様子もなく、引き続き感染予防の対策を十分に行いながらの2学期スタートとなります。併せて、1学期終わりの時期以上に熱中症に注意しながら教育活動を行ってまいります。体育の授業などの屋外活動は「暑さ指数（WBGT値）」などを参考にして、活動の中止や変更を行っていくこととなります。そして、特に心配なのが登下校です。マスクを外し、人との距離を取り、会話をしないで下校することを強調する場面が多くなります。冷却タオルや日傘の使用など、ご家庭の協力をいただきながら、この残暑を乗り切れればと考えています。ご協力をお願いいたします。

「自己有用感」と「自己肯定感」

さて、この2学期に子供たちに育んでいきたいことの一つに、「自己有用感と自己肯定感を高める集団づくり」があります。この「自己有用感」と「自己肯定感」。字面は似ていますが、似て非なるものです。少し紹介させていただくと、下のような違いがあります。



自己有用感…他人の役に立った、他人に喜んでもらった…等、自分の存在が誰かの役に立ち、貢献していると認識したときに起きる感情。
 自己肯定感…自分の長所や短所も含めてありのままの自分を認め、肯定する感情。
 自尊感情とほぼ同じ意味合いで使われています。

もし、自己有用感も自己肯定感も低い状態だったら、「周囲からも認めてもらえないし、期待もされていない。自分は、だめなところばかりだ。」というような感情が心を支配しているのかもしれない。一方、自己有用感と自己肯定感が高い状態なら、例えば「ぼくは〇〇係で仕事をしていると、周りの友達が『助かるよ』とか『ありがとう』って言ってくれてやりがいを感じる。少し時間はかかるけど、丁寧に仕事をするのは自分のよさだ。」といった具合に、他者との関係の中で、自分の存在や自分自身の良さを前向きに捉えることができます。こうした人との関わりを学級や縦割り活動の中で育んでいきたいと考えています。人と関わることや集団活動に参加することを通して、「進んで協力できた」「自分から働きかけができた」「誰かの役に立つことができた」という集団の一員としての自信や誇りを獲得し、そこから自分自身の良さを見出せるようにしたいのです。この積み重ねがその子の社会性を形作るものと考えます。日々の学校生活の中で育んでいく心の成長も大切にしながら、2学期の教育活動を進めて参ります。ご家庭の皆様、地域の皆様、引き続きお力添えの程、よろしく願いいたします。

